

下北半島都市圏広域的な立地適正化の方針【概要版】

【青森県むつ市・横浜町・大間町・東通村・風間浦村・佐井村】

背景・課題

- 人口減少や少子高齢化が進む中、都市サービスや公共交通サービスの低下、生活サービス機能の維持が困難になる懸念。
- 複数の市町村による広域生活圈や経済圏において、定住自立圏における中心市とその周辺自治体との間で、生活サービスの立地や公共交通の充実等についての重要性。

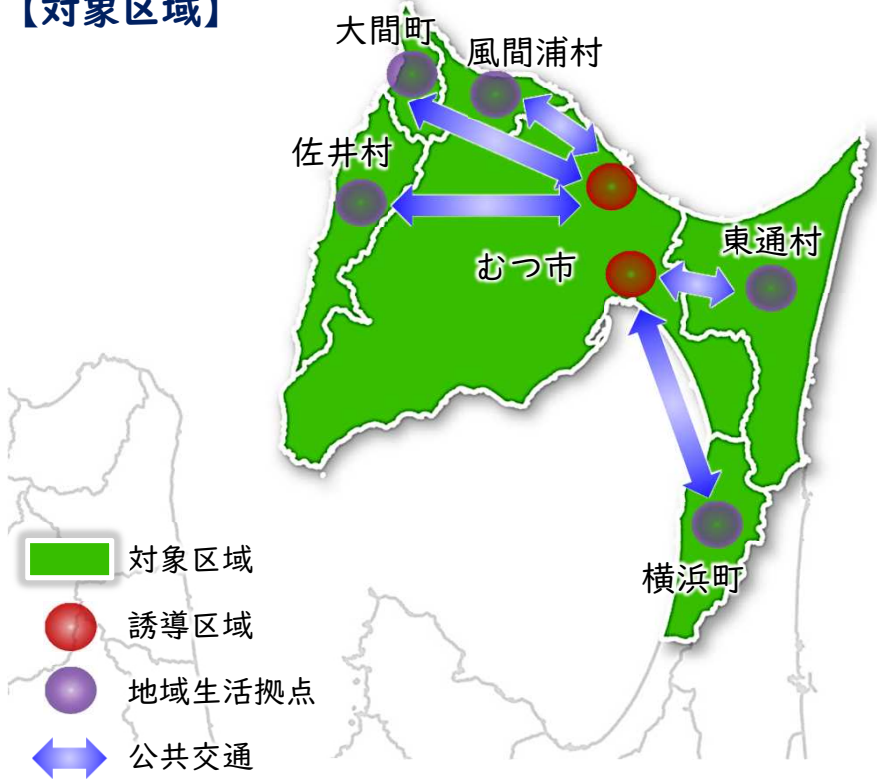


広域的な立地適正化の方針の策定

- 令和5年8月、1市2町3村により「下北半島都市圏広域的な立地適正化の方針」を策定。
- これまでの「下北圏域定住自立圏」や「JR大湊線活性化協議会」などの取組に加え、都市計画区域と都市計画区域外の連携強化による都市機能の役割分担、都市施設の立地適正化、防災・減災を推進することによる「コンパクト・プラス・ネットワーク」による持続可能な都市圏の実現。

都市と地域の多極連携型コンパクトシティの形成 ～海とともに生きる魅力と活力ある下北半島～

【対象区域】



■ 誘導区域及び地域生活拠点の設定

誘導区域	むつ市立地適正化計画の都市機能誘導区域 ➢ 都市圏の中心にふさわしいまちづくりを推進
地域生活拠点	各町村の都市機能施設が集積する区域 ➢ 都市機能を維持し、安全・安心で暮らしやすいまちづくりを推進

■ 誘導施設及び誘導施設相当施設の設定

誘導施設	むつ市立地適正化計画の誘導施設 ➢ 庁舎、病院、小・中学校、大学・短期大学、図書館等
誘導施設相当施設	各町村において維持・誘導を図る都市機能施設 ➢ 役場、病院・診療所、小・中学校等

■ 基幹的誘導施設の設定

病院（むつ総合病院）	下北地域保健医療圏唯一の二次救急医療機関として、圏域内外の住民の医療を支えている施設
大学・短期大学	「青森明の星短期大学下北キャンパス」及び「青森大学むつキャンパス」がむつ市に開設され、広域的な高等教育機関として機能

■ 公共交通を含む交通ネットワークに関する方針

「下北地域公共交通網形成計画」によるものとし、誘導区域と地域生活拠点を結ぶ公共交通ネットワークの形成を推進するほか、「JR大湊線活性化協議会」や「下北地域公共交通総合連携協議会」により、公共交通の利用促進や地域活性化方策の検討・実施に取り組む。